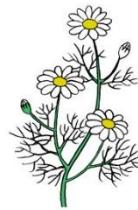




いよいよ1年の締めくくりの時期となりました。日々の授業、西高祭や修学旅行などの行事。その一つ一つを振り返ると、この1年間、皆さんが成長してきたことを強く感じます。上手くいったことだけでなく、悩んだことや失敗したこともあったでしょう。しかし、その経験こそが皆さんを確実に前へと進ませてきたのだと思います。

今まで学年で繰り返し考えてきたのは「ルールとマナーを守る」ということです。今回、アイスクリームの自動販売機の導入について、新しいルールを考えたり、見直したりすることもあり、ルールについて考える機会がありました。時にはルールを守れなかったりしたことがあったかもしれません。けれども、その出来事をきっかけに「なぜルールがあるのか」「どう行動すればよかったのか」と問い直すことができれば、そこには意味があります。失敗をそのままにせず、そこから考え学ぼうとする姿勢こそが人を成長させます。そして、決められたことを守るだけでなく、周囲を思いやり、場にふさわしいふるまいを自分で考えること。その積み重ねが皆さんを少しずつ大人へと近づけているのだと思います。



作家の大江健三郎さんは学校で学ぶことの意味について、次のように述べています。

「国語だけじゃなく、理科も算数も、体操も音楽も、自分をしっかり理解し、他の人たちとつながってゆくための言葉です。外国語も同じです。そのことを習うために、いつの世の中でも、子どもは学校へ行くのだ、と私は思います。」(『自分の木の下で』)

学校で学ぶ一つの教科は、ただ知識を身につけるためだけのものではなく、自分はどんな人間なのかを知り、他の人とどう関わりながら生きていくのかを考えるための「言葉」を学んでいるという考え方です。教室での学びも、友人との関わりも、時にはうまくいかない経験さえも、すべてが自分自身を理解し、他者とつながるための大切な学びなのだと思います。

まもなく皆さんは3年生になります。高校生活の仕上げとなる1年です。この1年で積み重ねてきた経験と成長を土台に、さらに大きく歩を進めていくことを期待しています。

4月8日(水) 始業式の日程

- 8:20 校門通過
- 8:25 昇降口通過
- ※下足を袋(持参すること)に入れ、スリッパに履き替え、体育館シューズを持って下足箱を空にする。
- ※2階(3年生教室)の元のクラスの教室に入り、出席番号順に着席する。
(例)2年1組 → 3年1組教室で待機
- 8:30 旧クラスにて SHR(新クラスへ持っていくもの配布)
- 8:50 新クラスへ移動
- その後始業式・LHR

**制服着用!ブレザーを
忘れないように!**

第6回球技大会



2年最後の球技大会!! 天気は晴れ!!

今年こそ、体育館ではバレーボール、グラウンドではハンドボール!と思われましたが、グラウンドコンディションが悪く、恒例の(!?)ドッジボールとなりました。今まで行った球技大会6回のうち、5回がドッジボール大会です。こうなると、ドッジボールはもはや校技(学校を代表する競技)…。というわけで!?! 今回の大会名は「伊丹西高校 校技杯」。(教室に掲示している表彰状を確認してください。)ちなみに予定通りの実施であれば、バレーボールの大会名は「アタックNo.1杯」、ハンドボールは「送球ボーイ&ガールズ杯」の予定でした(T_T) 特にハンドボールは、体育委員達は時間をかけてルールを作成し、万全の準備をしてくれていただけに残念です。とは言っても、試合が始まると、熱戦が繰り広げられ、体育館は大きな歓声に包まれ、クラスの絆を感じる充実した一日となりました。



総合優勝

2位
3位

1・2組合同

4組
5組

おめでとう!!

男子

1位
2位
3位

1・2組A
4組
6組

女子

1位
2位
3位

1・2組A
4組
1・2組B

4月の予定

- 4月 8日 (水) 始業式・着任式
- 4月 9日 (木) 離任式・対面式・LHR・学年集会(部活紹介)
- 4月 10日 (金) 課題考査(英・国) 3限授業・4限LHR・身体測定
- 4月 13日 (月) 1~4限授業・5限LHR・6限 部活動説明会
- 4月 14日 (火) 個人面談週間(~4/21) 45分授業
- 4月 17日 (金) 遠足
- 4月 24日 (金) 生徒総会 45×6



今年の生徒会行事も大いに盛り上がりました。

全校生徒会行事の様子



ブラインドサッカー日本代表 高橋裕人選手 伊丹西高校に!!

パリで開催されたパラリンピックのブラインドサッカー日本代表の高橋裕人選手をお招きし、講演会を行いました。

高橋選手は小学校の頃に弱視となり、その後徐々に視力を失い、全盲になったそうです。その状況の中でブラインドサッカーに出会い、挑戦し、現在では日本代表として世界を舞台に活躍しておられます。

講演では、日常生活の様子についてもお話くださいました。交通機関を利用して一人で全国各地を移動するなど、とてもアクティブに生活させている姿が印象的でした。高橋選手だけでなく、若い育

成選手たちも自分で考え、行動することを心がけ、自主性や自立性を育てることを目指しているそうです。

高橋選手は「白杖を盛った人を見かけたら『大丈夫ですか』と一言声をかけてもらえると嬉しい。」と話し、「その一言が見えない不安をやわらげ、安心して行動することにつながる」と話してくださいました。



体育館の前から後ろまで走る高橋選手。人のいる気配を感じて避け、自分の太ももを叩いて出した音の反響で壁との距離を測りがなら走るそうです。

ブラインドサッカー体験目隠しをして相手の声を頼りにボールを蹴る。ボールは音が鳴るように工夫されている。



高橋選手からのメッセージ

人間の持つ可能性のすごさを知り、何事もあきらめることなく挑戦して行って欲しい。

卒業生による進路講演会

3月16日(月)卒業生による進路講演会が実施されました。先日高校生活を終えたばかりの先輩方が、受験勉強の進め方や大変さ、思うようにいかない時期の乗り越え方、受験に向かう心構えなどを語ってくださいました。以下は感想です。

- ・あきらめずに頑張る、進路選択の幅を広げるために何事にも挑戦するなど考え方が前向きな人が多いと感じた。
- ・授業、小テスト提出物などをしっかり頑張りたい。
- ・まずは勉強の量をこなす、質を高めたいと思った。
- ・モチベーションの保ち方が参考になった。
- ・当たり前のことを当たり前に一つ一つ丁寧に取り組み、レベルを上げていきたい。
- ・失敗を乗り越えて合格を勝ち取った先輩方の話を聞いて、これから頑張ろうと思った。

3月2日(月)に、西高祭での舞台発表に向け、大阪芸術大学短期大学部 メディア・芸術学科の岩崎正裕教授、加納竜教授をお招きして演劇について学ぶ講演会を行いました。ワークショップをしたり、立ち位置やストーリー展開での動き方を教わったり、実演を交えた講演は大変分かりやすく参考になりました。4月からの西高祭の準備が楽しみです。※ちなみに、加納竜先生は俳優としてご活躍中で、TV映画でもお見かけします。

演劇を成功させるための14のポイント

岩崎教授より

- 1 演劇は**合意形成**によって作っていくもの! アイデアを出さず、文句だけ言うなんて「×」
- 2 芝居とはセリフでも、ジェスチャーでも **誰かに何か**を語り掛けることなので、**つないでいく**ということを忘れない。
- 3 プロットは**起承転結**(序破急)で! ※プロット:物語の流れを文章でまとめたもの(設計図)
例)起のびた困難に遭遇 承 ドラえもんに泣きつく 転 道具が出る 結 解決 or しっぺ返し
☆起か転のどちらかから考えるとよい。(5分×4)
起で何か困る・何か起きる 例)サスペンス(誰かが死ぬ→犯人を探す)
「登場人物がしなければならないこと」が明確であれば、観客は理解しやすい。
- 4 **キャラクター設定**も大事! わかりやすさを心がける。
- 5 **プロットはみんなで考え**、本をよく読む(映画・ドラマをよく見ている)人が脚本にすると良い。
- 6 脚本は**普段使いの言葉**で作るべし。
戯曲(Play・drama)とは**取扱説明書**だ。ト書き(取扱説明書)とセリフしかない。
- 7 脚本は**原稿用紙20枚程度**。(1枚1分ぐらい)
- 8 パロディは **原作への敬意**をこめて、笑いと風刺を入れて。
- 9 **笑いは想定していることとのずれ**から生じる。
- 10 場面転換で必要以上の暗転や幕は**不要**。演者が一周回ると場面転換できる。
- 11 ステージだけでなく、**会場全体が舞台**になる。
- 12 セリフにとられすぎず、**身体的表現**だけでも十分伝わる。→桃太郎
- 13 立ち位置は重要。2人の場合、**上手(右)**にいる方が**強く見える**。
複数の場合、**主役は当然センター**。
- 14 **演出とは「交通整理」** コミュニケーション能力、判断力、伝達力が必要。

演劇は合意形成によって作っていくもの!
とにかく楽しむことが大事!